

平成25年 第5回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成25年5月27日(月曜日) 午後1時30分開会/午後3時2分開会
招集場所 加賀市市民会館2階 第7会議室
出席委員 上田政憲、石橋雅之、酒谷百合子、畑中直子、旭直樹
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、中矢次長兼九谷焼美術館副館長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、谷口スポーツ課長、田嶋文化課長、矢嶋図書館長、柏田市政図書室長、米屋教育庶務課長補佐

上田委員長 平成25年第5回教育委員会定例会開会宣言
連日のように6月に入ったように暑い日が続いて、夜になると逆に涼しかったり、年寄りには堪える気候で、今日も上着をとらせていただきたいと思います。18日の橋立小中学校の竣工式は大変ご苦勞様でした。長いプロムナードは他では中々見られないものですし、もう少しゆっくり見学できればよかったなと思ったんですけども、実は私の隣に市長さんが座られて、あの朝、志賀町の高浜小学校に2016年に統合予定の7つの小学校の生徒を、学期に1回集めて合同の授業をしようという取り組みが新聞に載っていました。市長さんもそれをご覧になって声を掛けてこられたので、中々面白い取り組みだと思いますと申し上げたんですけども、統合の3年前ですからね。ただ、新聞にもよるんですけども、要するに1学期に1回参加することについて、生徒を預けるわけですから、先生の指導力があるかどうかを確認した上で参加を考えますという変な記事が載っていました。何てことを書いてくれるんだと思いつつながら、これは上手くいくのかなと、それは記事だけの判断ですから、本当のところはわかりませんが、せつかくそういう取り組みを始めたんですから、上手く成功してくれたらいいと思います。加賀市でもそういうことを考える必要があるのかなと思っていました次第です。もう一つは同じ志賀町で、それも統合関係ですけども、いくつ統合したのかはつきり覚えていませんが、生徒の80%が統合のためにバス通学だそうです。そのために非常に脚力が衰えているということで、富来小学校では毎朝10分間グラウンドを全員が走る。全員で走るといえばこの間の連合運動会では6年生全員で100メートルを走るというのはすごいなと思ったんですけども、富来小学校の場合は1年生から6年生まで全員が毎日10分間走るという取り組みを今年から始めたそうです。バス通学をするとそういうことが起きるのかと変に感心していた次第です。加賀市でもそろそろ教育体制の整備がスタートしようとしております。なんとかスムーズにできることを願いながらそういうことを考えておりました。挨拶はこれくらいにいたしまして、今日は6月補正予算が議案にあがっております。この定例会が終わった後で、また学習会を予定しております。長くなると思いますので、宜しくお願ひしたいと思います。

旭教育長 委員長さんのご挨拶の件につきまして、ちょっとしたご報告なんですけど

も、定期的にはやっておりませんが、すでに黒崎小学校では、橋立小学校へ行って授業を一緒に受ける取り組みをしております。それから菅谷小学校も意図的に河南小学校へ行って合同授業を受けるという訓練はしております。志賀町は大々的に学期1回とやっておりますが、こちらも見越してやっております。それからバスの通学支援で、そういう点では先取りして取りまして、走ろう運動は全部やっております。例えば庄小学校でも、長い休み時間にどんどん走らせていますし、一番走らせているのは金明小学校かもしれません。そういう取り組みをしているというご報告です。

上田委員長 そうでしたか。認識不足でお恥ずかしいところをお見せしました。すみません。それでは議題に入りたいと思います。

■ 議案第14号 平成25年度6月補正予算について

田嶋課長 梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 ただ今のご説明について何かご質問等ございませんか。

旭教育長 田嶋課長、地図は付けてなかったですか。いいんですけども、錦城山でも広いのでどの辺かわかるといいですね。

上田委員長 本丸はよく行くのですが、東丸というのはどの辺ですか。

田嶋課長 テニスコートに近い側です。そこからですと白山が非常にきれいに見えます。逆に本丸ですと、周りの木がだいぶ伸びて視界を遮ってしまっていて白山が見えません。ですので、実際に現地にあがりまして、ここがいいだろうということを経済部とも協議をしながら進めさせていただきました。

旭教育長 ちなみに、田嶋課長は山梨県韮崎市と言いましたが、あれは静岡県ではないですか。

田嶋課長 山梨県です。

旭教育長 山梨県ですか。だとしたら、笠ヶ岳ではなくて茅ヶ岳です。

田嶋課長 申し訳ありません。訂正します。

旭教育長 茅ヶ岳という山で深田久弥が亡くなったんですけど、韮崎市も深田久弥を顕彰する行事その他に動いているんです。加賀市は生誕の地で出身地ですから、どちらも仕掛けています。『日本百名山』というと全国的なネームバリューがある。錦城山は、江戸時代の儒学者として知られる大田錦城からとったんですけど、全国的にはほとんど知られていません。モニュメントがそこにあるということで地図に案内ができますし、カーナビその他でも出てきます。そうすると、全国バリューになるという一つの宣伝効果があるということです。ただ、50周年になったから記念碑を建てるわけではなくて、観光戦略の背景もあることをご承知おき願いたい。

上田委員長 地元で錦城山があるものですから、小さい頃に登って遊びました。アスレチックがあった時期もありましたけども、毎年掃除には行くんですが、段々人が行かない公園になってしまった。何か良いアイデアというか、そういう

- 企画があると、また皆さんが錦城山へ行ってみようかなという気持ちになるのかなと大変期待しています。はい、田嶋課長。
- 田嶋課長 今のご意見ですが、アスレチック等、かつて 30 年以上前に擬木で作られたもので、今は全く使えない状態でございます。錦城山は当然大聖寺城跡の山ですので、以前から城跡の史跡整備を目的としまして、国庫補助をいただいて発掘調査を続けており、その成果も非常に上がっているところでございます。将来的な構想といたしましては、きちっとしたものではないですが、まず城跡としての整備が必要である。そのときには今おっしゃったアスレチックなり擬木等の後で作られたようなものは、基本的には全て撤去して城跡としての整備をしたいと考えております。それと園路につきましても、本来の城道が確認できれば、そちらを復元して活用したいと思っております。当時の城はこんなに入り難く作られているのか、ということを知っていただくのも学習の一つではないかと思えます。それと、城跡の山でもありますので、深田久弥の百名山を活かして、そのファンの方が石碑を見にいらしたら、ここが大聖寺城のあった山なのか、それならついでに見に行こうかという相乗効果も出るのではないかと期待しております。以上です。
- 上田委員長 深田久弥の記念碑建立についての今回の補正予算でございますが、そのあとのことについてご説明願えますか。
- 掛山局長 4 ページには、タイトルに『クール加賀 300 万人構想 郷土出身著名人を活用した加賀温泉郷情報発信事業』ということで、深田久弥は教育委員会が所管で進めますが、もう一つ、初代NHK 会長の岩原謙三生誕 150 周年記念事業というものを、地域振興部が所管でイベントを考えております。ついては、このイベントは、教育委員会も少なからず関係することになります。予算は地域振興部ですけども、教育委員会も協力したかたちで進めていくこととなります。田嶋課長、説明をお願いします。
- 田嶋課長 NHK 初代会長であります岩原謙三氏は、加賀市大聖寺旧穴虫町、現在の錦町ですね。錦城山の東丸に非常に近い山の麓でお生まれになったということで、現在は江守さんという方のお宅が建っている場所です。NHK の初代会長ということで知られておりますが、当然 NHK ですから、日本放送協会なんです。その初代会長を務められた以後、日本の放送文化に多大な貢献をされました。その他に、実は現在の電機メーカーの東芝ですが、芝浦製作所の 2 代社長もされていた実業家でもあり、放送会の創始者でもあるということで大変な功績があります。元々が大聖寺藩士の侍の家に生まれた方です。当時、一級の文化人であった三井物産の大実業家の益田鈍翁ですね、国宝や重要文化財に指定されているものをかなり個人でコレクションされた有名な収集家でもあるんですが、茶人としても非常に有名な方です。この方から勧められて、岩原謙三もお茶をやっていました。自宅が東京の愛宕山の放送博物館のすぐ近くなんです。虎ノ門に大邸宅があって、その中にお茶室があり、それも仰木魯堂という当時一流茶人建築家に設計させたんですが、そこ

で度々お茶会を催しているのですが、岩原謙三という方は、大聖寺が生んだ粋な方といえますか、非常に茶目つけがあつて、そそっかしい部分もあつたそうです。慌ててお茶席に出て帽子を被つたままお懐石を出されたりとか、飼っていた狛が、お手前をしている最中に正客に飛び乗ったりとか、椿事を起こすことでもよく知られております。それで益田鈍翁から、そそっかしいので粗忽者という意味から素骨庵という名前まで賜っていたという方です。それとか、非常に悪戯つけもある方でした、普通のお茶会ですと、お客様には食べにくいお菓子は出さないものなのですが、わざとこぼれるお菓子を奥さんに作らせました。それはどういうものかという、もろこし餡ですから、とうもろこしの粉で作った餡だと思ふんですが、それに包んできな粉をまぶしてあるんです。普通は楊枝を入れるとすつと切れるものなんでしょうが、楊枝を入れるとバラバラになって皆大騒ぎするというお菓子をわざと振舞って、慌てふためくのを喜んで見ていたというお茶会がありました。明治から大正にかけての面白い茶会の話を集めた記録の中に出ています。羊羹で有名な東京の虎屋さんが、かなり前にこぼれるお菓子を再現されておまして、今回のお茶会でもう一度それを再現していただいで出そうと思います。それからお茶会というのは、普通はお抹茶ですね。濃茶・薄茶とありますが、明治の終わりの43年頃にアメリカから伝わりましたチョコレート手前というのをやったそうで、要はチョコレートはココアですね。ココアを少しの熱湯で練って、それにミルクを足して硬さを調整する。まるで濃茶を立てるように、お抹茶の茶碗とか茶筌でココアを立てて振舞ったというのが当時の茶会記に出てきます。かつてNHKが初めて放送を開始した愛宕山の建物が、世界で最初の放送博物館になっておまして、その入口を入つてすぐのところに初代会長の岩原謙三の胸像が展示してあります。その胸像にまずチョコレート手前の献茶をして、そこでチョコレート手前とこぼれるお菓子の茶会をしてはどうかと計画しております。それは11月6日を予定しております。なぜ11月6日かといいますが、岩原謙三が生まれたのが、文久3年の10月21日でございます、それは旧暦でございますので、現在の新暦に直しますと11月6日ということになります。大聖寺でも、墓石に記されている旧暦の10月21日に岩原謙三の顕彰イベントをやりたいと地元の方も考えています。ちょうどそのときに大聖寺で我が家の家宝展がある時期でもございますので、人物館の建設予定地の鴻玉荘で茶会をしておりますので、そちらで、東京でやるものと同じものがないか、まだまだ検討中でございますが、顕彰するイベントを考えております。

上田委員長

資料を読んだときに、チョコレート手前やこぼれるお菓子とは何なのかと思いましたが、大変わかりやすい説明をありがとうございました。他に何かありませんか。ないようでしたら賛成の方は挙手をお願いします。

全委員

全員挙手

上田委員長

ありがとうございます。次は報告案件に移りたいと思います。報告第12号

について、中矢次長、説明をお願いします。

■ 報告第12号 加賀九谷焼360周年記念事業企画実施委員会について
中矢次長 資料に基づき説明

上田委員長 360年の数字もご説明いただいてありがとうございます。なぜ360年か考えていました。何かご質問等ございませんか。24年度からスタートしてきちんと準備されていらっしゃるようですので、計画が予定通り進行するようお願いいたします。

旭教育長 中矢次長の説明で十分なのですが、こういうことをする狙いといいますか、原点は九谷焼の周知といいますか、特に首都圏ですね。そちら側へのアピールをどうしていくかが本当の狙いです。九谷焼というと、能美市や小松市でも頑張っています。そこも全部取り込んだ計画ではあったんですけども、元々開業360年ですから、九谷焼を開いた本家本元、これは譲れないんですよ。古九谷の場所は、いくらさばを読んでも能美市や小松市は太刀打ちできない。今後この検討会で話してはいくんですが、開業360周年記念事業と銘打っていくと、事業をしようとしたときに能美市や小松市が敬遠してくるかもしれない。要するに観光戦略の一つとして関東の誘客をどう引っ張っていくかということ。東大医学部の敷地、本郷に大聖寺藩上屋敷跡の石碑があるんですが、そこでもイベントをしたいという思いがあります。それから有田焼開業400年になるんです。古九谷は360年で、本家本元の有田はまだ早いですから、そのような関係で有田町との連携といいますか、こういう計画もあります。中矢次長に連携をとってもらって、お互いに交流してイベントをやっていけないかと思うのですが、こういう動きはすべてアピールのためで、観光素材の一つと考えて新幹線開業を見据えてやっていく。加賀市の一つの事業だということで計画を進めているということです。

上田委員長 はじめに「九谷焼 360 周年『開業』」という言葉がないので、それでいいのかなという気がしますが、どうなのでしょう。

中矢次長 実は検討準備会の段階では『開業』は入っておりましたが、古九谷に特化するのがいいのか、あまりそのことだけを言うと広域連携に支障が出てくる可能性があるのか、いろんな意見がありました。とりあえず360年経つことは間違いないので、委員会の名前ですから配慮しました。

旭教育長 私は事務局の立場ではなく教育委員の立場から言いますと、窯跡は山中の方にあつて今も発掘していますから、「開業」を入れればいいと思います。高度な政治的配慮もあつて難しいところです。

上田委員長 他に何かございますか。特にないようでございますので、スムーズに進行しますようお願いいたします。次にまいります。報告第13号について説明をお願いします。

■ 報告第13号 平成25年度計画訪問参観チェック表について
網谷次長 資料に基づき説明

- 上田委員長 これは私たちが計画訪問の際に、学校へ伺ってそこで記入するものですね。
- 網谷次長 そうです。
- 上田委員長 これはいつ、どなたに提出するのですか。
- 網谷次長 11ページにありますように、午前中のみでお帰りになる場合と、昼食も含めてお帰りになる場合がありますので、お帰りの際に、私か越中谷指導主事がおりますので、どちらかにお渡しいただければ結構かと思えます。
- 上田委員長 記入するのは私たち教育委員ですので、委員の方、細かい項目につきましてご意見、ご質問ございましたらお願いします。
- 旭教育長 やってみてこの項目を付けておいてほしいとか、そういう点で我々自身が動いて色々と試行錯誤はしていけばいいと思うんです。例えば掲示物が乱雑だったとか、お気付きの項目外のことはその他の所に書いていただいてもいいですし、その学校に行ってみないとわからないものですから、そこは自由に書いてください。それを事務局で集約します。とにかく、ただ行くよりは何かで残した方がいいだろうと思えます。小学校はいいんですけども、中学校になると難しいですから、この辺をどう評価していくか。その都度変えられる用紙でございます。
- 上田委員長 特にございませんか。私も見て考えてみたんですが、あまり細かすぎてもじっくり見る時間が取れるかもわかりませんし、これくらいが丁度かなという気がしないでもないです。教育長さんがおっしゃったように、やはり一旦始めてみないと何とも言えませんし、これで始めることにいたしましょう。
- 旭教育長 ちなみにこういうことをしている他市町があるのかないのか、あればまた参考にさせてもらいますし、県内外インターネットで調べてもらったのでしょうか？
- 網谷次長 私は事務所にいたときに管内を回ったのですが、そのときはこういった項目でやっているところはなかったです。もし参考になるところがあればまた調べたいと思えます。
- 旭教育長 こういうことをやるのは先進的だと思うんです。教育委員会として、どの市町も計画訪問はやっていきますけど、評価シートまでしているかどうかは私にもわからないんです。もしもあれば、交流して良いところはお互いに作ればいいし、皆さんも他の委員さんと交流することがあったらぜひ教えていただきたい。
- 上田委員長 全国に先駆けたかたちになるのかもしれませんが、せつかく訪問するわけですから、やっぱり良いかたちで残していくというか、学校のためになるように活用していただくというのを第一にやっていきたいと思えます。これで報告案件が終わりまして、その他に入りますがよろしいですか。その他(1)について、梶谷課長お願いします。

■ その他(1) 第1回加賀市教育体制検討会議の開催について
梶谷課長 資料に基づき説明

上田委員長 特にお聞きになりたいことはございますか。ないようですので、その他(2)の説明を網谷次長お願いします。

■ その他(2) 損害賠償請求控訴審について
網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 何かお聞きになりたいことはございませんか。

石橋委員長 一部わからないのですが、経緯を見ていると、原告側も和解する意思があるということなんでしょうか。まさか裁判所の独断で和解を勧めているとは思えないのですが、そうなれば原告側にも何らかのかたちで意思を裁判所側に示していると考えればいいですね。

網谷次長 はい、そうだと思います。

旭教育長 第4回は6月27日と書いてあるんですけど、第5回、6回がある可能性はありますか。

網谷次長 現在日程が決まっておりますのは、7月18日(木)3時半からです。それ以降は決まっておりません。

旭教育長 第5回が7月になるのですか。

網谷次長 はい。要するに和解に応じるのではないかと思いますので、原告側の和解金額がどれくらいなのか、裁判所側がある程度これくらいではないかと示して原告側にもこの金額でと言ってくれば、こちらもそれについて検討しますというかたちだと思います。

旭教育長 そうすると被告側の動きはまだわからないのですか。

網谷次長 被告側の弁護士さんもいらしてたんですが、今の段階ではまだ争っているということではなくて、成り行きを見て和解が決まったらその金額をどうするかというところで被告側の代表の立場でお話をされると思います。今のところ目立ったことは何もありません。

上田委員長 それ以上は言えないんですね。

網谷次長 はい。

酒谷委員 私も裁判のことはよくわからないのですが、双方で和解しようと決まってから金額なのか、金額がこれだから和解できますということなのか。

網谷次長 原告側が大きな金額を言っても、裁判長がそれは無理だとある程度示せば仕方ないので、金額が決まってからどんな割で負担するのかという話になっていくのではないかと思います。だから金額が先にある程度決まるものだと思います。

酒谷委員 それによって双方が歩み寄って、金額を基準にして和解ということになるのですね。

網谷次長 そうですね。
上田委員長 加害者側の保護者がどんなふうに考えていらっしゃるか、それでだいぶ違ってくると思います。肅々と、としか言いようがないですね。それでは次にま
いりたいと思います。その他(3)について西出課長、説明をお願いします。

■ その他(3) 第1回加賀市公民館大会の開催について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 ちょっとお聞きしたいのですが、第1回というのは今年度第1回という意味
ですか。

西出課長 いえ、今までで初めてです。生涯学習フェスティバルとか、一斉発表の場や
学習の場としての大会をしていたんですけども、公民館連合会の方で、そろ
そろ活動も充実してきたので、市としても県に習って公民館大会という名目
でしっかりしようということで第1回目をさせてもらうことにしました。

酒谷委員 後援が石川県公民館連合会となっていますが、これは石川県全域に声を掛け
るのですか。それとも加賀市だけですか。

西出課長 加賀市だけです。ただ、県の会長さんにも来ていただきます。

石橋委員 趣旨が、「公民館やまちづくりの実践活動を紹介しあい、相互の情報交換を
図り交流を深め、これからの公民館のあり方を研究協議する。」となっている
んですが、あいさつ・祝辞・表彰式はしょうがないとして、本来の趣旨に
沿った一番肝心な部分の事例発表がわずか40分、昼食・アトラクションと
いうと、果たして中身のあり方がこれでいいのか正直疑問に思います。それ
から、これは第1回なので当然毎年やっていかれることになるだろうと思
いますが、今ほどの生涯学習課長の言葉の中に、各地区の公民館活動を充実
してこられたので、きちっと切り替えたいというお話がありましたが、うちは
河南地区でよその公民館が何をしているのか、どんなことをしているのか、
そういったことの情報交換をちゃんとできているのか私自身もよくわかり
ません。もう少し話し合う場所も含めて公民館事務局、公民館長さんらとコ
ミュニケーションをとる時間がもうちょっとあってもいいのではないかと
思ったのですが、その辺はどうでしょうか。

西出課長 一応協議の中で、石橋委員さんがおっしゃるような時間配分等のこともあつ
たんですが、まず第1回ということで、人が来やすいような時間にしたいと
いうことを優先しました。あまり長い大会にしても、負担がかかって中々参
加しにくいのではないかとということでこういった時間になりました。それぞ
れの情報交換にいたしましては、各まちづくりの広報誌が各地区に回ってい
まして、前回のときはパネルを用意しまして、まちづくりの活動を表示し、
その下に作品の発表とか各地区の特色ある発表を用意したんですけども、今
回は講演と事例発表だけに絞ろうということでこういう内容になりました。
それに関しましては、こちらの今後の課題にしたいと思います。

上田委員長 1 回目ということもありますし、これまでにこういう会合と申しますか、公民館大会を開けるほどには煮詰まっていなかったということですか。

西出課長 去年はまちづくり交流大会ということで、特にまちづくりと公民館と区長会長との関係とかも協議・検討した2年間になりました。去年は、まちづくりとして一体になって市を盛り上げていかないといけないのではないかとということでやりました。他の動きを見ていると、社会教育の活動としての大会にしたいということで、一応今のところ公民館長さんの任期が2年なので、1年目では中々わからないため隔年にしようという意見がございます。

上田委員長 ほとんど公民館長さんの切り替わりは同じ時期なのですか。

西出課長 今年も2人が特別に任期切れではなくて個人的な都合で変わったんですけども、大体は2年任期で例年ですと2〜3人が変わられます。

旭教育長 現在の公民館長さんは熱心な方が多くて、地域の信頼も厚い方が多いんでしょう。こういうかたちでできるということは、私としてはいいのではないかと思うんです。この実績を作っていくためにも、来年度公民館に対するこのソフト事業のために予算化ができるように、何を言いたいかというと、この表彰がありますね。これは長年公民館長をしておられたという表彰もありますけど、これはかがやき市民大学表彰となっている。これは生涯学習を一生懸命やっておられる方々に200点突破、1,000点突破というかたちで表彰しているんです。ここに本来ならば、元気なお年寄りを作り出すための仕掛けがあると思うので、3温泉の無料券とか商品があるといい。ここが予算化されていないもので、今の段階では表彰状の紙だけ渡すんです。全国に先駆けた長野県のような長寿で元気な健康寿命の長い県は、こういった市民大学講座が非常にうまく活用されているんですよ。ここで学んだ人がまた社会・地域で活躍するという良い循環になっているので、ここを上手く活かして将来に繋げるような会にさせていただけると大変ありがたいと私は思っているんです。ぜひこのかがやき市民表彰を、微々たるものだと思うんですが、5万円か10万円の予算をつけておいて、ここで1,000点突破した人には3温泉の無料入浴券を贈呈するとか、何か仕掛けてほしいというのが私の願いです。講師その他は、時宜に応じた、現代的課題に応じた講師を探す。あるいは講師がいなければ事例発表をもう少し増やしたり、これは自分達の会ですから、第1回目ということで育てていってほしいという願いも込めています。

上田委員長 ちょっとお聞きしたいんですけども、今の教育長さんのお話に出てきた表彰なんですけど、普通、公民館大会で表彰と申したら、公民館活動に対する表彰だとすぐ思ってしまうんですが、かがやき市民大学の表彰というのは、他の部分でできないのですか。そういうチャンスはないのでしょうか。

西出課長 実際に今まで行っていたかがやきフェスティバルの中で行っていたもので、機会としてはここが一番ではないかと思われまして、本来の永年勤続表彰は県でもしているんですが、市でも3月の変わられる時点で感謝状を差し上げ

ているので、次回からは5年とか10年とか長い方には差し上げたいと思っております。

上田委員長 他に何かございませんか。まだその他がありますので、ご質問がないようでしたら、その他(4)について説明をお願いします。

■ その他(4) 「敷地物狂」について
田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長 ぜひ参加したいと思います。次にまいります。その他(5)について説明をお願いします。

■ その他(5) 市政図書室の整備状況について
柏田市政図書室長 資料に基づき説明

上田委員長 新しく設置された部署で、柏田室長さんの意気込みが伝わってくるようですが、何かご質問はございませんか。利用する方が利用しやすいような利便性を図っていただきたい。はい、教育長。

旭教育長 これは加賀市教育委員会事務局からのお願いみたいなものなんですけども、その他(4)「敷地物狂」、これは成人式・マラソンに継ぐ3つ目の教育委員会主催イベントですが、これをいかに周知していくか。その一環で、昨日も山中よしのやで錦城能楽会の方に演じてもらったりして、少しでも知ってもらおうという一環でありますので、このあとの取り組みもご指導いただきたいと思っております。もう一つ、市政図書室も新しく予算化して作っていくのですが、市民に周知していく。ここに行ったら郷土のいろんな資料がいっぱいあるというようなコーナーにしたいということなんです。そういう点で周知のお願いを2つ。敷地物狂と市政図書室を上手く活用していただきたいということでもよろしくをお願いします。

上田委員長 その他何かございますか。

■ その他(6) PTA 交流会について
西出課長 説明

上田委員長 何月何日でしたか。

西出課長 7月26日(金)です。

上田委員長 わかりました。生涯学習課の方でPTA役員会の方と内容の協議を進めていただきたいと思っております。他にないようでしたら、次回日程をお願いします。

梶谷課長 6月の日程なんですけども、19日に第1回教育体制検討会がありますので、計画訪問も入ってきておりますので28日(金)13時半でどうでしょうか。

全委員 わかりました。

梶谷課長 ； 会場はまた確認してからお知らせします。
上田委員長 ； それでは第5回教育委員会定例会を終わります。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。